

SENKO REPORT

第94期 中間報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日

- 1P 株主の皆さまへ
- 4P 中期経営計画(平成22年度～平成24年度)
- 5P 部門別の概況
- 7P 連結財務諸表
- 9P 会社概要
- 10P 株式情報



SENKO

証券コード 9069

株主の皆さまへ

新中期経営三カ年計画がスタート、 目標達成に向けてグループの総力を結集しています。



代表取締役社長
福田 泰久

株主の皆さまには、

ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに第94期中間期における営業の概況と決算について、

ご報告申し上げます。

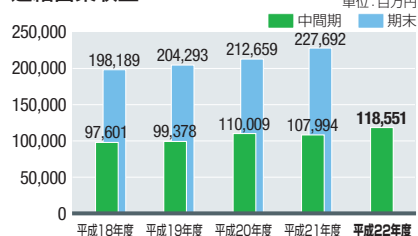
厳しい経営環境が続く中、 積極経営で収益確保に努めました

当第2四半期連結累計期間(中間期)における日本経済は、緩やかに景気回復しつつあるものの、改善の動きは弱まっており、依然として先行き不透明な状況です。

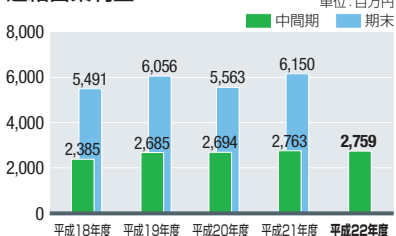
物流業界におきましては、平成22年度も内需に力強い回復が見込めないことから、国内貨物輸送量は11年連続のマイナスとなる見込みであり、引き続き厳しい経営環境が続くものと思われます。

このような環境の中、当社グループは「Moving Global」を

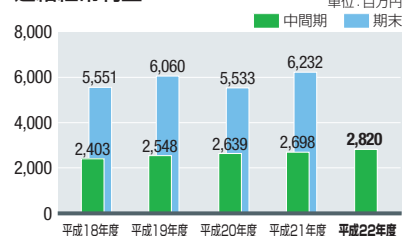
連結営業収益



連結営業利益



連結経常利益



コーポレートスローガンとした新たな中期経営三ヵ年計画の初年度として、国内外において大型物流拠点の整備、新会社設立などの積極経営を続け、収益確保に努めてまいりました。

国内においては、4月に「福井PDセンター」、7月に「金沢PDセンター」、9月には大阪に「舞洲PDセンター」という3つの新たな物流拠点を開設し、各地区の既存物流拠点の再編や物流サービスの拡充を図りました。一方、海外においては、カザフスタンの国家プロジェクトに参画するため、5月に現地合弁会社「センコー・ランカスター シルクロードロジスティクス」を設立し、7月には中国の青島に日中一貫ファッション物流拡大のための合弁会社「青島雪興国際物流有限公司」を設立、8月に同じく青島でチェーンストア向けの「青島物流センター」を稼働させました。

この結果、当中間期は、新規顧客の開拓に積極的に取り組んだこと、大型設備投資が売上に寄与したこと、前期にM&Aによってグループ会社となった家庭用品卸売業の株式会社丸藤の売上が寄与したこと等により、連結営業収益は1,185億51百万円(対前年同期比9.8%増)となりました。

一方、利益面におきましては、料金改定や燃料費上昇など

のマイナス要素が影響し、連結営業利益は27億59百万円(同0.1%減)となりました。しかしながら、営業外収支が改善したことによって、連結経常利益は28億20百万円(同4.5%増)、連結四半期純利益は13億22百万円(同2.7%増)となりました。

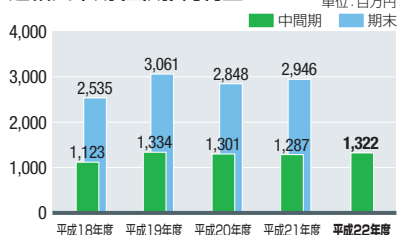
なお、当中間期において公募増資を実施し、資本金が205億21百万円、資本剰余金が187億82百万円となりました。

一層の利益還元のため増配を実施、 年間配当金は1株10円といたします

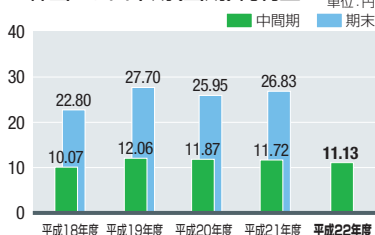
当社は、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆さまへの利益還元を充実させるために、安定配当に加えて、業績連動を考慮した配当を実施することを利益配分に関する基本方針としております。

当期の中間配当金につきましては、当初1株当たり4円を予定しておりましたが、当中間期決算状況と今後の見通しなどを踏まえ、1株当たり5円に増配いたしました。期末配当につきましても1株当たり5円とし、年間配当金は1株当たり10円とさせていただきます。

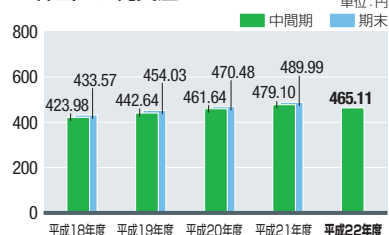
連結四半期(当期)純利益



一株当たり四半期(当期)純利益



一株当たり純資産



中期経営三ヵ年計画の初年度、計画の達成のために多様な取り組みを進めます

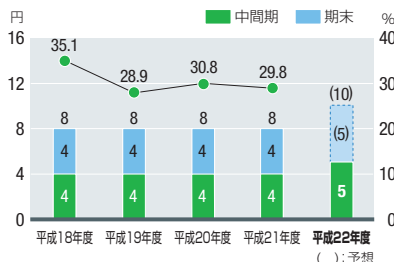
現在、景気は緩やかに回復しつつありますが、改善の動きは弱まっており、今後も引き続き当社を取り巻く経営環境は厳しいものと予想されます。

当社グループが平成22年度からスタートさせた新中期経営三ヵ年計画では、従来の物流企業の枠組みを超えて高品質なサービスを提供し、社会との共生を大切にしながらグローバルな企業活動を展開、従業員の成長志向を育み、お客さまに新たな価値を提案することを目標としております。

さらに、当社は、企業の社会的責任(CSR)を全うすべく、「法令遵守」「環境対応」「安全重視」を3本柱に据え、CSR経営の推進にあっております。今後も社会との共生を図りながら、継続的な発展を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

一株当たり配当金／配当性向



Topics

中国・青島に物流センター

当社は平成22年8月、中国の青島にチェーンストア向け物流センター「青島物流センター」を開設しました。センターでは、お客さまの青島市内および近隣店舗へのトラック配送や保管・仕分け業務などを実施。オペレーションの基幹情報システム導入など、「中国でのチェーンストア物流のシステム化」に取り組んでおります。中国でのチェーンストア向け物流センターは、「深圳物流センター」に続き2拠点目。深圳物流センターの実績がお客さまから評価され、再度ご下命いただきました。当社は今後も海外物流センター事業を強化していく考えです。

大阪で「舞洲PDセンター」が稼働

当社は平成22年9月から、大阪市の舞洲地区で「舞洲PDセンター」を稼働させました。同地区は、大阪市内中心部や尼崎・神戸方面、堺・泉南方面へのアクセスも良く、関西地区全域の配送に優位な地区となっております。センターの延床面積は63,922㎡で、当社の関西地区物流施設で最大。1階と3階に合計54台分のトラックバースを備え、3階には屋内スロープで直接アクセスでき、スムーズな入出荷作業を実現しました。大阪湾岸という立地特性を活かし、船舶を利用したモーダル



シフト対応や、輸出入商品向けの物流拠点として、今後事業拡大を図っていきます。

平成24年度売上高3,000億円に向け
センコーグループの目指す方向、3つの行動指針とその取り組みをご紹介します

Moving Global

1 物流を超える

2 世界を動かす

3 ビジネスを変える

カザフスタンと中国の物流プロジェクトに参画

当社は平成22年5月、カザフスタンにおいて、現地企業のランカスターインフラストラクチャー株式会社(以下、ランカスター社)との合併形態で物流センター

の建設・運営に乗り出しました。カザフスタン・中国の国境にまたがる「ホルゴス」で展開される、両国の戦略的共同国家プロジェクト「国際国境経済開発センター」(以下、ICBCホルゴス)に参画したものです。

ランカスター社と出資比率50%で合併会社「センコー・ランカスター シルクロードロジスティクス」を設立。8haの敷地に総面積22,000㎡の物流センターを建設し、ロジスティクス事業を展開します。すでに第1期工事に着手しており、平成23年1月に営業を開始する予定です。

センターでは、入国側トラックへの貨物の積み替え、通関、通関待ち貨物の一時保管などの業務にあたります。ICBCホルゴスでは、カザフスタン・中国の双方からビザなしで入出国可能で、従来両国間輸送の際に必要なとされた運転手のビザ取得が不要となります。また、開発区内に税関が設置され、ただちに輸入通関が実施されます。その結果、輸送コストの削減と輸送の迅速化を実現できます。

今回の物流センター設置によって、国際ハブ拠点としてのカザフスタンの重要性は一層増すものと考えられます。当社ではランカスター社と共同し、今後カザフスタンの他都市でも物流センター開発を進める予定です。



部門別(セグメント別)の概況

当中間期の成果を部門別(セグメント別)に報告します。

部門別の事業収入

単位：億円

	前中間期	当中間期	増減率
物流事業	976	1,039	6.5%
商事・貿易事業	92	131	42.6%
その他事業	12	15	27.2%
合計	1,080	1,186	9.8%

※当社は当中間期より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用し、セグメント区分を従来から変更しております。

物流事業

自動車運送事業のほか、鉄道利用運送、海上運送、国際運送、倉庫業、お客さまの構内における原材料および製品の包装・移動等の作業、物流センターの運営などの事業から構成される部門です。

当中間期におきましては、積極的な新規開拓と既存事業の売上の伸長が寄与し、事業収入は1,039億円と対前年同期比6.5%の増収となりました。

商事・貿易事業

石油販売、商事販売、貿易事業などの事業から構成される部門です。

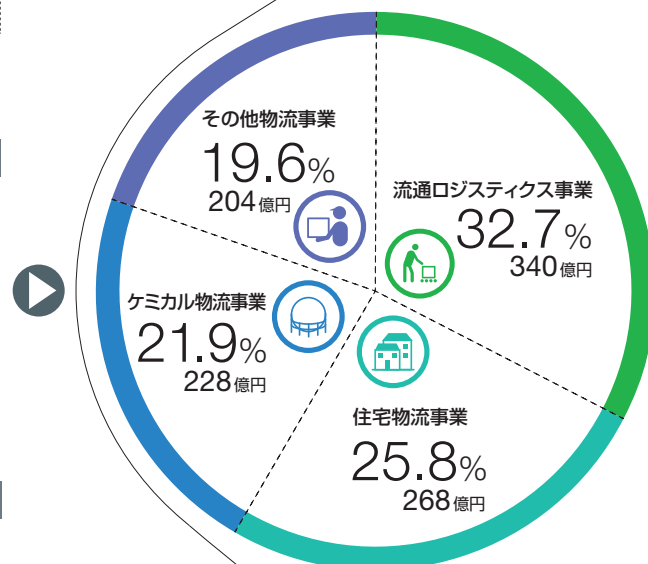
当中間期におきましては、昨年、M&Aにより(株)丸藤をグループ会社としたことや、石油販売事業の売上の伸長が寄与し、事業収入は131億円と対前年同期比42.6%の増収となりました。

その他事業

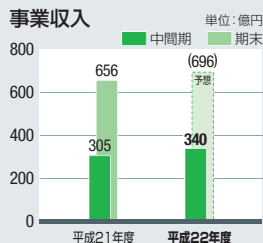
情報処理受託、自動車修理、保険代理業などの事業から構成される部門です。物流事業、商事・貿易事業の2部門に含まれない事業を主要サービスとしています。

当中間期におきましては、受託計算事業の伸長が寄与し、事業収入は15億円と対前年同期比27.2%の増収となりました。

物流事業の詳細について
ご説明いたします。

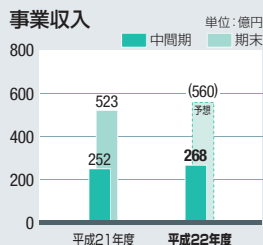


物流事業別
売上高構成比



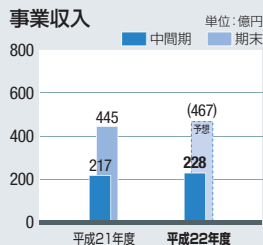
事業収入は**340億円**と
対前年同期比**11.3%**の増収となりました。

既存物量の落ち込みはあったものの、アパレル物流や量販店・小売物流等の分野で新規拡販等があったことに加え、昨年度に江坂運輸(株)、阪神運送(株)を子会社化したことによる増収等があり、トータルでは増収となりました。



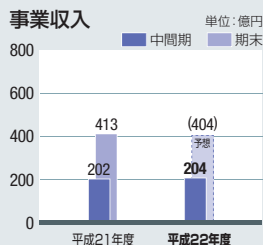
事業収入は**268億円**と
対前年同期比**6.4%**の増収となりました。

工場発(住宅メーカーさまから施工現場へ必要な資材を必要な時期に直送するサービス)貨物、住宅資材貨物ともに既存物量の増加があったことに加え、新規拡販の効果もあり増収となりました。



事業収入は**228億円**と
対前年同期比**5.1%**の増収となりました。

全体的な既存物量の落ち込みが若干あったものの、樹脂原料、成型加工品輸送が増加したこと、積極的な新規拡販により、トータルでは増収となりました。



事業収入は**204億円**と
対前年同期比**0.7%**の増収となりました。

既存物量の落ち込みが若干あったものの、食品輸送や電機・機械輸送の新規拡販等があり、増収となりました。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

単位:百万円

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日 現在)	前連結 会計年度末 (平成22年3月31日 現在)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,027	14,504
受取手形及び営業未収入金	30,484	30,364
商 品	775	1,237
販売用不動産	24	24
貯 蔵 品	125	112
仕 掛 品	106	202
そ の 他	5,741	5,043
貸 倒 引 当 金	△ 47	△ 44
流動資産合計	50,237	51,445
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	38,187	36,669
土 地	35,408	35,401
そ の 他(純額)	10,016	10,164
有形固定資産合計	83,613	82,235
無形固定資産	3,983	3,616
投資その他の資産		
差入保証金	8,508	8,728
繰延税金資産	5,106	5,007
そ の 他	19,159	17,348
貸 倒 引 当 金	△ 275	△ 251
投資その他の資産合計	32,498	30,832
固定資産合計	120,095	116,685
資 産 合 計	170,332	168,131

百万円未満は切り捨てて表示しています。

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日 現在)	前連結 会計年度末 (平成22年3月31日 現在)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	21,824	22,473
短期借入金	14,493	15,320
未払法人税等	1,181	1,845
賞与引当金	2,975	3,384
役員賞与引当金	48	84
そ の 他	7,906	8,251
流動負債合計	48,430	51,359
固定負債		
社 債	7,000	7,000
転換社債型新株予約権付社債	4,900	4,900
長期借入金	30,667	31,396
退職給付引当金	9,840	9,907
役員退職慰労引当金	35	53
特別修繕引当金	30	25
資産除去債務	289	—
そ の 他	8,527	8,366
固定負債合計	61,290	61,648
負 債 合 計	109,720	113,008
純資産の部		
株 主 資 本		
資 本 金	20,521	18,345
資本剰余金	18,782	16,607
利益剰余金	20,501	19,604
自 己 株 式	△ 772	△ 772
株主資本合計	59,033	53,785
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△ 21	49
繰延ヘッジ損益	△ 17	△ 22
為替換算調整勘定	△ 10	△ 3
評価・換算差額等合計	△ 48	23
新 株 予 約 権	107	80
少 数 株 主 持 分	1,519	1,233
純 資 産 合 計	60,611	55,123
負 債 純 資 産 合 計	170,332	168,131

四半期連結損益計算書

単位:百万円

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (平成21年4月1日～ 平成21年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日～ 平成22年9月30日)
営 業 収 益	107,994	118,551
営 業 原 価	98,902	108,690
営 業 総 利 益	9,092	9,860
販売費及び一般管理費	6,329	7,100
営 業 利 益	2,763	2,759
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	85	89
受 取 配 当 金	434	430
そ の 他	310	353
営 業 外 収 益 合 計	830	874
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	548	580
そ の 他	346	232
営 業 外 費 用 合 計	895	813
経 常 利 益	2,698	2,820
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	232	147
資 産 除 去 債 務 会 計 基 準 の 適 用 に 伴 う 影 響 額	—	130
特 別 退 職 金	—	74
リ ー ス 解 約 損	69	22
過 年 度 損 益 修 正 損	180	—
特 別 損 失 合 計	482	375
税金等調整前四半期純利益	2,215	2,445
法人税、住民税及び事業税	900	1,073
法 人 税 等 調 整 額	44	124
法 人 税 等 合 計	944	1,198
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,247
少 数 株 主 損 失 (△)	△ 16	△ 74
四 半 期 純 利 益	1,287	1,322

百万円未満は切り捨てて表示しています。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (平成21年4月1日～ 平成21年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日～ 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,693	1,079
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 995	△ 4,649
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,529	1,616
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△ 19
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,230	△ 1,973
現金及び現金同等物の期首残高	11,748	14,504
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	35	495
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,013	13,027

百万円未満は切り捨てて表示しています。

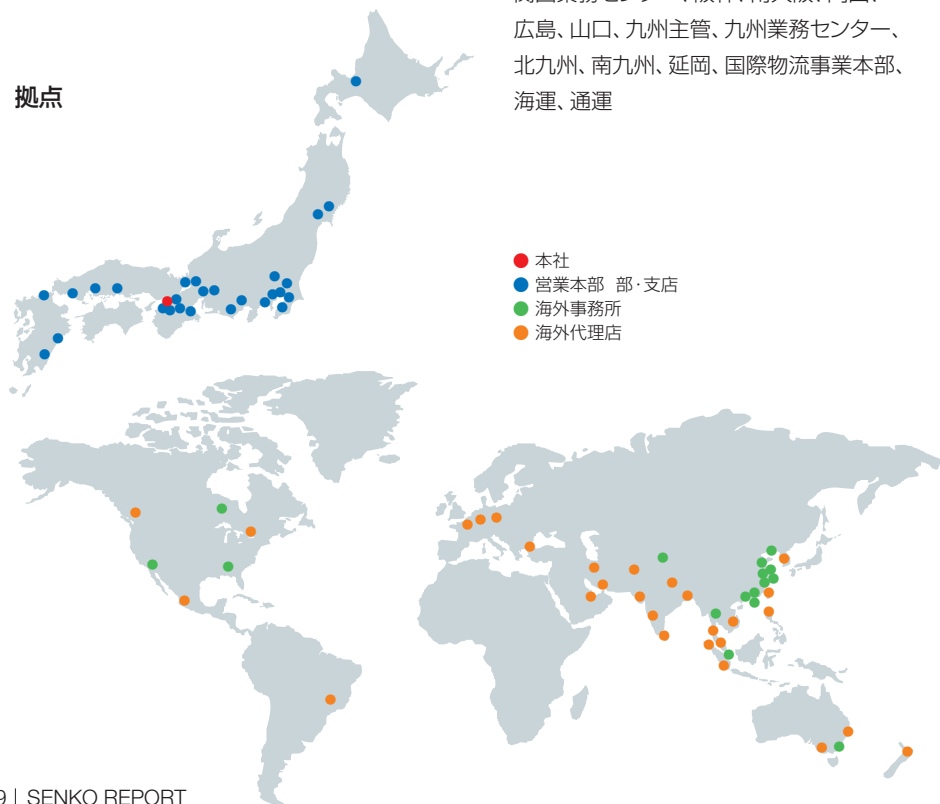
会社概要

会社概要

(平成22年9月30日現在)

商号	センコー株式会社
資本金	20,521,133,751円
創業	大正5年9月
設立	昭和21年7月
本社	〒531-6115 大阪市北区大淀中一丁目1番30号 電話(06)6440-5155(代表)
事業所	216箇所
従業員	3,031名
貨物自動車	1,400輛
所有船舶	9隻
倉庫	1,170,770m ²

拠点



主要な事業所

(平成22年10月1日現在)

■ 営業本部

住宅物流営業本部
ケミカル物流営業本部
ロジスティクス営業本部
事業開発本部

■ 部支店

札幌主管、札幌南、仙台主管、仙台北、茨城、
埼玉主管、埼玉南、柏、東京主管、
南関東業務センター、東東京、神奈川、
関東住宅、千葉、静岡東、静岡西、名古屋主管、
中部業務センター、小牧、三重、京滋主管、
京滋業務センター、京滋東、大阪主管、
関西業務センター、阪神、南大阪、岡山、
広島、山口、九州主管、九州業務センター、
北九州、南九州、延岡、国際物流事業本部、
海運、通運

役員

(平成22年9月30日現在)

代表取締役社長	福田 泰久
代表取締役副社長執行役員	渋川 賢一
取締役専務執行役員	手塚 武與
取締役専務執行役員	高橋 久男
取締役専務執行役員	田中 増雄
取締役常務執行役員	田中 健悟
取締役常務執行役員	和田 定晋
取締役執行役員	森本 康司
取締役執行役員	菅野 正人
取締役執行役員	川瀬 由洋
取締役執行役員	尾池 和昭
常勤監査役	遠山 泰
常勤監査役	岡本 克美
常勤監査役	辻 正和
常勤監査役	松本 雄三
常務執行役員	山中 一裕
常務執行役員	寺町 博文
執行役員	滋野 善夫
執行役員	山本 隆志
執行役員	白木 健一
執行役員	宮津 純二
執行役員	大迫 友行
執行役員	米司 博
執行役員	谷口 玲
執行役員	多田 政美
執行役員	佐々木信郎
執行役員	澤田 孝志
執行役員	是沢 可人

株式情報

子会社等

(平成22年10月1日現在)

- センコー商事株式会社
- 株式会社センコー保険サービス
- センコー情報システム株式会社
- ロジ・ソリューション株式会社
- 株式会社センコー引越プラザ
- センコーエーラインアノ株式会社
- 東京納品代行株式会社
- イヌイ運送株式会社
- 札幌センコー運輸株式会社
- 東北センコー運輸株式会社
- 関東センコー運輸整備株式会社
- 埼玉センコー運輸整備株式会社
- センコー住宅物流株式会社
- 千葉センコー運輸整備株式会社
- センコーファッション物流株式会社
- 柏センコー運輸株式会社
- 神奈川センコー運輸株式会社
- 北陸センコー運輸株式会社
- 富士センコー運輸株式会社
- 大東センコーアポロ株式会社
- 東海センコー運輸株式会社
- 豊橋センコー運輸株式会社
- 三重センコーロジ株式会社
- 滋賀センコー運輸整備株式会社
- 大阪センコー運輸整備株式会社
- 東京納品代行西日本株式会社
- 阪神センコー運輸株式会社
- 江坂運輸株式会社
- 阪神運送株式会社
- 奈良センコー物流株式会社
- 岡山センコー運輸株式会社
- 三協貨物株式会社
- 山陽センコー運輸株式会社
- 中四国ロジスティクス株式会社
- 株式会社四国冷凍運輸倉庫
- 福岡センコー運輸株式会社
- 南九州センコー株式会社
- 宮崎センコー運輸整備株式会社
- 宮崎センコーアポロ株式会社
- センコーフーズ株式会社
株式会社クレフィール湖東
- S-TAFF株式会社
センコービジネスサポート株式会社
- センコーメディカルロジスティクス株式会社
ロジファクトリング株式会社
- 株式会社丸藤
株式会社センコースクールファーム鳥取
- Senko Logistics (USA) Inc.
Senko (USA) Inc.
- 大連三興物流有限公司
扇興物流(上海)有限公司
- 上海扇興国際貨運有限公司
- 広州扇興物流有限公司
- Senko International Logistics (Hong Kong) Ltd.
青島雪興国際物流有限公司
- Senko (Thailand) Co., Ltd.
Senko International Logistics Pte. Ltd.
- Senko Logistics Australia Pty Ltd.
Senko-Lancaster Silk Road Logistics LLP

(注) ○は連結子会社を示しております。

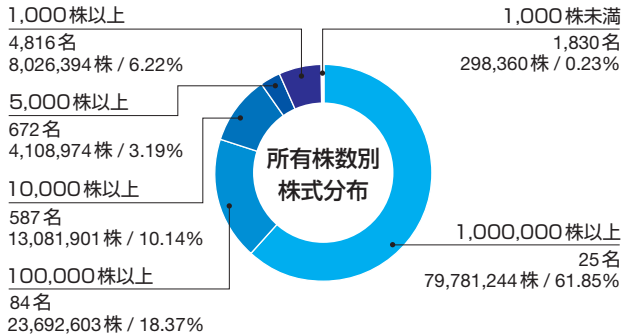
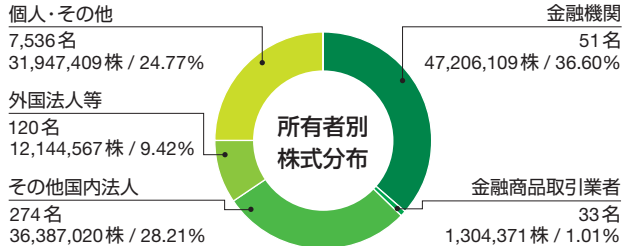
株式の状況

(平成22年9月30日現在)

発行可能株式総数 294,999,000株

発行済株式総数 128,989,476株

株主総数 8,014名



大株主(上位10位)

株主名	所有株式数(株)	所有比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	15,690,000	12.16
旭化成株式会社	10,676,726	8.28
センコーグループ従業員持株会	7,143,743	5.54
積水化学工業株式会社	6,785,900	5.26
三菱UFJ信託銀行株式会社	5,060,000	3.92
東京海上日動火災保険株式会社	4,439,170	3.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	4,332,000	3.36
エイアイジー・スター生命保険株式会社	3,200,000	2.48
ニッセイ同和損害保険株式会社	3,169,655	2.46
いすゞ自動車株式会社	2,939,689	2.28

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 大阪証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.senko.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 1.株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



Webサイトリニューアルのお知らせ

当社は、平成22年9月1日からコーポレートサイトを全面的にリニューアルしました。

平成17年以来のリニューアルとなる今回は、従来のデザインを一新し、必要な情報を探しやすい、わかりやすいホームページとなるように内容の充実を図りました。

今後も皆さまのお役に立つサイトを目指し、情報を充実させてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。